

アワード

本誌Vol.63 No.11に掲載された論文著者の佐藤大介氏，村田将之氏，木村駿介氏が第71回電気科学技術奨励賞を受賞されました

会誌編集委員会デジタルプラクティス専門委員会主査
斎藤彰宏

去る2023年11月30日，東京・学士会館にて第71回電気科学技術奨励賞（旧オーム技術賞）の受賞式が開かれ，佐藤大介氏（Carnegie Mellon University），村田将之氏（日本アイ・ビー・エム（株）），木村駿介氏（清水建設（株））の三氏が「視覚障害者のための自律型ナビゲーションロボット「AIスーツケース」の開発」のテーマで表彰されました。電気科学技術奨励賞は，日本の技術立国を担う特に電気科学技術の研究者・技術者への啓発を期待しその功労者に贈られるもので，1952年に創設された大変権威のある賞です。

三氏は，デジタルプラクティスVol.63 No.11（2022年11月）に掲載された「[自律型視覚障がい者ナビゲーションロボットの普及を目指して](#)」の執筆者であり，この論文はこのたび電気科学技術奨励賞を受賞されたテーマをさらに深く知るのに絶好の資料となっております。AI技術とロボット技術を組み合わせた視覚障がい者ナビゲーションシステムの開発と実証からの知見についての論文で，画像認識，AI，測位，モビリティ等を担当する異業種コンソーシアムによる取り組みが紹介されています。また会誌「情報処理」Vol.65 No.3（2024年3月）「[IT紀行～研究会行脚編～：第5宿 インクルーシブな未来社会はスーツケースに乗ってやってくる!? アクセシビリティ研究会にお邪魔してみた](#)」でも自律型ナビゲーションロボット「AIスーツケース」について紹介されています。

佐藤大介氏，村田将之氏，木村駿介氏の三氏にお慶び申し上げるとともに，今後ますますのご活躍を期待したいと思います。



左から村田将之氏, 佐藤大介氏, 木村駿介氏